令和6年 低層住宅の 労働災害発生状況報告書

令和7年 7月

一般社団法人住宅生産団体連合会

はじめに

(一社)住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業 150 社(昨年比▲51 社)から、労働災害データ及び関係資料をご提供いただき、令和 6 年の低層住宅の労働災害発生状況を把握することが出来ました。ここにご協力を賜りました関係各位に、深く感謝を申し上げます。厚労省より令和 6 年の確定値が公表され、それによりますと全労働災害による死亡者数は 746 人(前年比▲9 人)となりました。また建設業においては、232 人(前年 223 人)で、前年比 9 人増となり 29.5%から 31.1%と増加しました。また 4 日以上之死傷災害に関しては、13,849 人で、前年比 565 人減(▲3.9%)と大幅減となっています。業種別、事故の型別死亡災害発生状況では、建設業の「墜落・転落」災害は、昨年 86 人から 77 人と減少していますが、いまだに尊い命が亡くなっています。さて、ご協力いただいたアンケート調査の結果、(一社)住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業の令和 6 年の労働災害発生件数は 294 件(前年比 85 件減)となりました。これは昨年より回答数が減少していることも影響していると考えられますが、一方で、労働災害発生件数(1000 棟当たり)を見ると、全体として前年比 108%の増加となり、相対的な災害発生率は上昇しています。また、死亡災害は 2 件(前年 2 件で増減なし)となりました。これをゼロとするべく、より効果的な取り組みをお願い致します。災害の型別発生状況では、重篤化する「墜転落」によるものが、依然として発生するなか、脚立・足場・ハシゴからの墜落災害が多数を占めていることから危険予知活動が、重要と思われれます。また業界全体で増加する高齢な技能者・外国人労働者に配慮した職場づくりが、急務と考えられれます。住宅建築における主力職種である「大工」の高齢化も深刻な状況ですが、災害を減少させるため、高齢技能者に対しきめ細やかな取り組みが必要です。当連合会では、「災害ゼロ」「危険ゼロ」「安全先取り」の現場の実現を目指して、昨年に引き続き職場・現場での働き方を見直し、DX(デジタルトランスフォーメーション)活用推進による生産性の向上を図る活動や、建災防の新ヒヤリハット報告の導入・会員企業における好事例集の水平展開などを行い、関係部門と連携して建設業の働き方改革を推進して参ります。関係団体ならびに会員各位の一層のご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

令和 7 年 7 月

一般社団法人 住宅生産団体連合会 工事CS・安全委員会

1. 労働災害発生状況の調査について

(一社)住宅生産団体連合会の会員団体である下表団体所属の会員企業に対して、休業4日以上の労働災害発生状況について、アンケート調査を実施した(『令和6年低層住宅の労働災害発生状況報告書』39～41頁参照)。令和6年のアンケート報告企業総数は150社であり、過去8年間(平成29～令和6年)を含めた団体別報告企業数推移は表1-1の通りであり、昨年から51社減少した。

表 1-1 アンケート報告企業数推移

所属団体	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
プレハブ建築協会	16社	14社	14社	15社	15社	14社	14社	13社
日本ツーバイフォー建築協会	112社	104社	104社	115社	96社	97社	83社	65社
日本木造住宅産業協会	125社	98社	135社	105社	86社	62社	78社	42社
全国住宅産業協会	71社	56社	30社	42社	32社	22社	17社	24社
全国中小建築工事業団体連合会	66社	32社	0社					
JBN全国工務店協会			3社	5社	46社	49社	5社	4社
輸入住宅産業協会	5社	7社	3社	2社	2社	2社	4社	2社
計	395社	311社	289社	284社	277社	246社	201社	150社

団体別、規模別、新築工事、増改築・リフォーム工事、解体工事別の労働災害発生件数は、表1-2の通りである。

表 1-2 アンケート全体 団体別、規模別の労働災害発生件数(休業日数4日以上)

休業日数4日以上 の労災件数	令和6年																		無 記 入	
	全体									新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事				
	回 答 社 数	完 工 棟 数	割 合 %	内 訳			災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 た り 災 害 件 数											
				新 築 件 数	増 改 築 ・ リ フ ォ ー ム 工 事 件 数	解 体 工 事 件 数														
	150	304,431	100.0	79,204	218,192	7,035	294	100.0	0.97	268	100.0	3.38	19	100.0	0.09	7	100.0	1.00	0	
団 体 別	プレハブ建築協会	13	228,715	75.1	41,457	183,688	3,570	168	57.1	0.73	152	56.7	3.67	12	63.2	0.07	4	57.1	1.12	0
	日本ツーバイフォー建築協会	65	35,446	11.6	8,245	25,976	1,225	33	11.2	0.93	26	9.7	3.15	5	26.3	0.19	2	28.6	1.63	0
	日本木造住宅産業協会	42	33,432	11.0	26,270	4,984	2,178	83	28.2	2.48	80	29.9	3.05	2	10.5	0.40	1	14.3	0.46	0
	全国住宅産業協会	24	3,901	1.3	2,266	1,584	51	6	2.0	1.54	6	2.2	2.65	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	JBN全国工務店協会	4	298	0.1	27	260	11	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	輸入住宅産業協会	2	2,639	0.9	939	1,700	0	4	1.4	1.52	4	1.5	4.26	0	0.0	0.00	0	0.0	-	0
規 模 別	3000棟以上/年	11	271,456	89.2	61,174	204,062	6,220	223	75.9	0.82	204	76.1	3.33	13	68.4	0.06	6	85.7	0.96	0
	1000～2999棟/年	6	13,586	4.5	8,057	5,109	420	26	8.8	1.91	25	9.3	3.10	1	5.3	0.20	0	0.0	0.00	0
	500～999棟/年	15	10,666	3.5	5,301	5,233	132	29	9.9	2.72	26	9.7	4.90	2	10.5	0.38	1	14.3	7.58	0
	100～499棟/年	34	6,341	2.1	3,223	2,947	171	10	3.4	1.58	8	3.0	2.48	2	10.5	0.68	0	0.0	0.00	0
	50～99棟/年	21	1,421	0.5	793	554	74	3	1.0	2.11	3	1.1	3.78	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下/年	62	961	0.3	656	287	18	3	1.0	3.12	2	0.7	3.05	1	5.3	3.48	0	0.0	0.00	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	
工 法 別	木造在来軸組						93	31.6		86	32.1		5	26.3		2	28.6		0	
	ツーバイフォー						30	10.2		26	9.7		2	10.5		2	28.6		0	
	木質プレハブ						36	12.2		36	13.4		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨在来						0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨プレハブ						123	41.8		109	40.7		11	57.9		3	42.9		0	
	コンクリート在来						0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	コンクリートプレハブ						5	1.7		4	1.5		1	5.3		0	0.0		0	
	その他						7	2.4		7	2.6		0	0.0		0	0.0		0	
不明						0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0		

※(全体の1000棟当たり労働災害件数) = (全体の労働災害件数) ÷ (新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数) × 1000

※(工事種別の1000棟当たり労働災害件数) = (各工事の労働災害件数) ÷ (各工事の棟数) × 1000

※規模別の規模は、新築工事、増改築・リフォーム工事、解体工事の総和

平成18年調査より各団体の新築完工棟数上位会社（プレハブ建築協会3社、日本ツーバイフォー建築協会3社、日本木造住宅産業協会3社、全国住宅産業協会2社、全国中小建築工事業団体連合会2社（平成30年まで）、JBN2社（令和元年より）、輸入住宅産業協会2社、合計15社）の団体別、規模別、新築工事、増改築・リフォーム工事、解体工事別の労働災害発生件数の定点観測を行っている。集計結果は、表1-3の通りである。

表1-3 定点観測（団体別、規模別の労働災害発生件数(休業日数4日以上）

令和6年

定点観測		令和6年																			無記入
		全体									新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事				
		回 答 社 数	完 工 棟 数	割 合 %	内 訳			災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 たり 災 害 件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 たり 災 害 件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 たり 災 害 件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 たり 災 害 件 数		
					新 築 件 数	増 改 築 ・ リ フ ォ ム 工 事 件 数	解 体 工 事														
休業日数4日以上の労災件数		15	216,579	100.0	46,098	166,217	4,264	174	100.0	0.80	162	100.0	3.51	8	100.0	0.05	4	100.0	0.94	0	
団 体 別	プレハブ建築協会	3	168,720	77.9	24,935	142,713	1,072	98	56.3	0.58	91	56.2	3.65	6	75.0	0.04	1	25.0	0.93	0	
	日本ツーバイフォー建築協会	3	27,197	12.6	4,878	21,243	1,076	20	11.5	0.74	16	9.9	3.28	2	25.0	0.09	2	50.0	1.86	0	
	日本木造住宅産業協会	3	16,530	7.6	14,424	0	2,106	51	29.3	3.09	50	30.9	3.47	0	0.0	0.00	1	25.0	0.47	0	
	全国住宅産業協会	2	1,266	0.6	905	361	0	1	0.6	0.79	1	0.6	1.10	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	JBN全国工務店協会	2	227	0.1	17	200	10	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	輸入住宅産業協会	2	2,639	1.2	939	1,700	0	4	2.3	1.52	4	2.5	4.26	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
規 模 別	3000棟以上/年	6	206,038	95.1	38,844	163,433	3,761	145	83.3	0.70	134	82.7	3.45	8	100.0	0.05	3	75.0	0.80	0	
	1000~2999棟/年	3	7,327	3.4	5,207	1,700	420	21	12.1	2.87	21	13.0	4.03	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	500~999棟/年	4	2,987	1.4	2,030	884	73	8	4.6	2.68	7	4.3	3.45	0	0.0	0.00	1	25.0	13.70	0	
	100~499棟/年	1	164	0.1	9	150	5	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	50~99棟/年	1	63	0.0	8	50	5	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	49棟以下/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	その他	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	
工 法 別	木造在来軸組							54	31.0		53	32.7		0	0.0		1	25.0		0	
	ツーバイフォー							24	13.8		20	12.3		2	25.0		2	50.0		0	
	木質プレハブ							11	6.3		11	6.8		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨プレハブ							85	48.9		78	48.1		6	75.0		1	25.0		0	
	コンクリート在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	コンクリートプレハブ							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	その他							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
不明							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0		

令和5年

定点観測		令和5年																			無記入
		全体									新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事				
		回 答 社 数	完 工 棟 数	割 合 %	内 訳			災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 たり 災 害 件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 たり 災 害 件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 たり 災 害 件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000 棟 当 たり 災 害 件 数		
					新 築 件 数	増 改 築 ・ リ フ ォ ム 工 事 件 数	解 体 工 事														
休業日数4日以上の労災件数		15	243,718	100.0	64,799	174,558	4,361	172	100.0	0.71	163	100.0	2.52	6	100.0	0.03	3	100.0	0.69	0	
団 体 別	プレハブ建築協会	3	173,364	71.1	27,624	144,642	1,098	93	54.1	0.54	89	54.6	3.22	3	50.0	0.02	1	33.3	0.91	0	
	日本ツーバイフォー建築協会	3	23,714	9.7	4,879	18,305	530	23	13.4	0.97	19	11.7	3.89	3	50.0	0.16	1	33.3	1.89	0	
	日本木造住宅産業協会	3	31,449	12.9	25,938	2,973	2,538	31	18.0	0.99	30	18.4	1.16	0	0.0	0.00	1	33.3	0.39	0	
	全国住宅産業協会	2	11,617	4.8	5,239	6,378	0	15	8.7	1.29	15	9.2	2.86	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	JBN全国工務店協会	2	357	0.1	87	260	10	2	1.2	5.60	2	1.2	22.99	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	輸入住宅産業協会	2	3,217	1.3	1,032	2,000	185	8	4.7	2.49	8	4.9	7.75	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
規 模 別	3000棟以上/年	8	236,190	96.9	60,656	171,898	3,636	141	82.0	0.60	134	82.2	2.21	5	83.3	0.03	2	66.7	0.55	0	
	1000~2999棟/年	3	5,956	2.4	3,329	2,000	627	16	9.3	2.69	16	9.8	4.81	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	500~999棟/年	1	854	0.4	366	400	88	9	5.2	10.54	7	4.3	19.13	1	16.7	2.50	1	33.3	11.36	0	
	100~499棟/年	2	639	0.3	371	260	8	4	2.3	6.26	4	2.5	10.78	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	50~99棟/年	1	79	0.0	77	0	2	2	1.2	25.32	2	1.2	25.97	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	49棟以下/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	
	その他	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	
工 法 別	木造在来軸組							45	26.2		44	27.0		0	0.0		1	33.3		0	
	ツーバイフォー							25	14.5		23	14.1		2	33.3		0	0.0		0	
	木質プレハブ							20	11.6		20	12.3		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨プレハブ							80	46.5		76	46.6		3	50.0		1	33.3		0	
	コンクリート在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	コンクリートプレハブ							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	その他							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
不明							2	1.2		0	0.0		1	16.7		1	33.3		0		

2. 完工棟数と労働災害発生件数の推移

令和6年の調査概要は、調査企業数150社（前年より51社減少、前年比75%）、完工棟数（新築）79,204棟（前年比67%）、（増改築・リフォーム）218,192棟（前年比74%）、（解体）7,035棟（前年比77%）、労働災害件数は294件（前年より85件減少）である。（表2-1参照）

年々、調査企業数が減少しており、推移を見ていく上で各団体のより一層の協力が必要である。

労働災害発生件数（絶対数）（図2-1）を見ると、完工棟数の合計が118,740棟減少（前年比72%）したことにより、数値上は全体として85件減少（前年比78%）となった。内訳は新築工事で80件減少（前年比77%）、増改築・リフォーム工事で5件減少（前年比79%）、解体工事で同件数（前年比100%）となっている。また、労働災害発生件数（1000棟当たり）（図2-2）を見ると、全体として前年比108%の増加で、内訳は新築工事で前年比115%の増加、増改築・リフォーム工事で前年比113%の増加、解体工事で前年比130%の増加となり、相対的な災害発生率は上昇している。各工事の増加傾向を抑制するため、夫々の工事に見合う効果的な対策が必要である。

労働災害防止には、労働安全衛生関係法令の改正にも目を向け、法令を遵守した対策を実行すること、安全作業定着には、リスクアセスメント、KY活動及び安全ミーティング等に積極的に取り組み、危険に対する認識、安全意識を関係者全員で高めることが重要である。また、日々向上するデジタル技術を活用し、労働災害の未然防止を図り、安全安心な現場環境の形成も必要である。

表2-1 調査企業数・完工棟数・労働災害件数推移

注) 労働災害件数は休業4日以上の災害で、一人親方、事業主等を含む。

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
調査企業数	311社	289社	284社	277社	246社	201社	150社
完工棟数	新築	138,977	140,144	131,437	118,596	98,393	79,204
	増改築・リフォーム	378,576	355,026	250,085	285,409	331,319	218,192
	解体	15,470	9,402	8,774	11,628	9,927	7,035
災害件数	392件	456件	388件	388件	326件	379件	294件

図2-1 労働災害発生件数(絶対数)

※全体には工事種不明の労働災害発生件数を含む。工事種不明件数は令和4年が0件、令和5年が0件、令和6年が0件

図2-2 労働災害発生件数(1000棟当たり)

※(労働災害発生件数)÷(新築工事棟数+増改築・リフォーム工事棟数+解体工事棟数)×1000

労働災害発生状況を企業規模別に見るため、アンケート報告企業を年間完工棟数に応じて表2-2のように分類した。

表2-2 規模別企業数推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
年間完工3000棟以上	18社	19社	25社	17社	18社	17社	19社	11社
1000～2999棟	17社	14社	9社	15社	11社	9社	11社	6社
500～999	22社	14社	20社	17社	24社	16社	14社	15社
100～499	80社	64社	68社	66社	59社	55社	48社	34社
50～99	55社	35社	39社	31社	30社	22社	16社	21社
49棟以下	203社	165社	128社	138社	135社	120社	85社	62社
規模不明・その他	0社	0社	0社	0社	0社	7社	8社	1社
計	395社	311社	289社	284社	277社	246社	201社	150社

※年間完工棟数は、新築工事、増改築・リフォーム工事、解体工事の合計

令和6年の1,000棟当たりの規模別労働災害発生件数は、図2-3のとおりである。全体としては、前年より増加となっている。(令和5年0.90、令和6年0.97) 全体増加の要因としては、完工棟数の多い『3,000棟以上』、『1,000-2,999棟』、『500棟-999棟』の上位3レンジで増加したことが全体に大きく影響している。その他レンジにおいては、『49棟以下』は増加し、『50-99棟』、『100-499棟』は減少している。

当該調査における完工棟数の推移は表2-3のとおりである。完工棟数は、新築工事、増改築・リフォーム工事、解体工事の全てで減少している。完工棟数の各レンジでは、『500棟-999棟』、『50～99棟』では増加したが、それ以外のレンジでは減少している。『3,000棟以上』の調査回答社数が11社で全体150社の7.3%程度にもかかわらず、完工棟数は全体の89.2%を占めている為、全体に対する影響は大きい。労働災害発生件数は、『3,000棟以上』、『1,000棟-2,999棟』、『100-499棟』のレンジで前年より98件の減少となり、一方、『500-999棟』、『49棟以下』では13件の増加、『50-99棟』は同数となっている。労働災害発生件数は全体で294件発生し、前年より85件の減少となり、前年比22%減となった。労働災害発生件数の減少においては、調査回答社数の減少も影響している。全体の1,000棟当たりの労働災害発生件数を減らすうえでは、完工棟数が多いレンジ、及び、完工棟数が減少しているレンジの労働災害発生件数の推移が重要であり、全体に影響を与えることになる。

図2-3 規模別労働災害発生件数(1000棟当たり)

※(各棟数エリアの労働災害発生件数)÷[各棟数エリアの(新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数)]×1000

表 2-3 規模別完工棟数 及び 労働災害発生件数推移

	完工棟数						災害発生件数						
	令和4年	令和5年	令和6年				令和4年	令和5年	令和6年				
			新築 工事	増改築・ リフォーム 工事	解体 工事	合計			新築 工事	増改築・ リフォーム 工事	解体 工事	無記入	合計
年間完工3000棟以上	397,973	380,118	61,174	204,062	6,220	271,456	243	297	204	13	6	0	223
1000～2999棟	16,058	20,252	8,057	5,109	420	13,586	30	29	25	1	0	0	26
500～999	10,048	10,180	5,301	5,233	132	10,666	10	17	26	2	1	0	29
100～499	12,071	10,116	3,223	2,947	171	6,341	32	31	8	2	0	0	10
50～99	1,478	1,113	793	554	74	1,421	2	3	3	0	0	0	3
49棟以下	2,011	1,392	656	287	18	961	8	2	2	1	0	0	3
規模不明・その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
計	439,639	423,171	79,204	218,192	7,035	304,431	326	379	268	19	7	0	294

※規模分けは、新築工事、増改築・リフォーム工事、解体工事の合計による。

図 2-4 規模別完工棟数比率

令和 4 年

図 2-5 規模別労働災害発生率

令和 4 年

令和 5 年

令和 5 年

令和 6 年

令和 6 年

3. 作業分類別労働災害発生状況

令和6年においては、解体、基礎、足場、建方、内装、外構の災害発生比率が増加した。特に足場、内装は前年比で顕著な増加が見られる。これらの増加傾向にある作業分類については、安全対策の再強化が求められる。

一方で、屋根、外部造作、内部造作、外装、設備の災害発生比率は減少した。内部造作工事は引き続き高い比率を示すものの、昨対比で減少傾向にある。

しかし、建方工事と内部造作工事を合わせると全体の約4割の事故発生となっており、重点的かつ恒久的な改善が引き続き最重要課題である。建方工事では、墜落制止用器具の使用徹底と作業環境の整備が、内部造作では脚立の正しい使用と足場台の普及促進、電動工具の点検と作業手順の周知徹底が重要となる。

図3. 作業分類別労働災害発生状況

※ その他の発生内訳：荷揚、雑工、美装、基礎補強、資材搬入など。

4. 職種分類別労働災害発生状況

令和6年度の職種分類別労働災害発生状況は、作業時間が最も長い「大工」の労働災害が、全職種の32%と前年より、7.6ポイント下がっているものの、例年と同じく全職種中、最も高い発生割合となっている。「大工」においては、職人の高齢化が進んでいる職種であり、労働災害発生は、高齢化による身体の衰えの影響もあると思われる。その年齢の構成割合も含め、今後もその傾向を注視していくべきである。

災害発生頻度の最も多い墜転落の災害リスクのある職種としては、高所での作業が必要な「トビ足場」といった職種があげられるが、令和6年度の発生状況をみると、3.7ポイント増加している。墜転落の災害は、大事故となるケースが多く見受けられるので、今後、増えるであろう外国人労働者への対策も含め、更なる安全管理の徹底が重要となってくる。

また、「現場監督」や「納材」といった職種も増加しているので、現場での資材搬入時の安全通路や、全体的な職場環境及び、作業時の安全対策状況も再度、注意すべき点となっている。

「その他」の職種では、令和6年、全体の4割を超える災害が発生している。その中では、作業環境が不安定な「解体」作業での労働災害や、一現場に長期滞在しての作業を行うことが少なく、かつ、多くの現場を巡回する「荷揚げ工、外構工、雑工、美装、防水工、土工等」は、現場毎の作業環境に不慣れゆえの労働災害が発生している。

次に、ここ数年の状況として、「とび足場」・「基礎」・「屋根、板金」・「大工」・「外構工」等、屋外の作業の多い職種では、熱中症の発症が顕著になっている。熱中症に関しては、その対策も本年より「義務化」となり、全職種に発症リスクがあることから、作業時における服装・装備や、作業計画、現場環境等、具体的な事前対策が必須となってくる。

図4. 職種分類別労働災害発生状況

※その他の職種：荷揚げ工、外構工、雑工、美装、防水工、土工など。

5. 原因・型別労働災害発生状況

原因・型別労働災害発生状況は、依然として「墜転落」(46.3%)が最も多く発生しており、続いて「転倒」(15.0%)、「工具(切れ・こすれ)」(13.6%)、の順となっている。特に「墜転落」は前年比で5.7%増加しており、以前にも増して大きな課題となっている。

墜転落の内訳では、「足場」(20.6%)からの墜転落が大幅に増加し、前々年を超える状況となった。「足場」からの墜転落は重大災害に繋がる可能性が非常に高いので、手摺等の確実な設置と墜落制止用器具(フルハーネス)の使用を徹底させることが最重要である。一方前年急増した「屋根」からの転落は横ばいの状況となったが、今後は減少に向けて「足場」同様に安全対策の徹底が重要である。又「開口部」及び「ハシゴ」からの転落は前年比で減少となったが、引き続き注視が必要である。「脚立」からの転落は依然として最も多く発生しており、全体の約1/3(33.1%)を占めた。前年比でも9.1%の増加となっており、現場の実態を把握した上で、作業者に対する指導及び目配りが必要である。

工具による「切れ・こすれ」の内訳では、「釘打ち機」、「丸鋸」、「グラインダー」、「カッター」の順に事故が多く発生しており、全体の約2/3(65%)を占めている。特に全体の1/4を占めた「釘打ち機」による事故が、前年大幅増となった後更に増えている事と、「グラインダー」による事故が急増した事が気になる点である。「回転工具(丸鋸・グラインダ)」においてはキックバック防止機構付き工具導入の検討、又「カッター」による事故においても耐切創手袋の普及が急がれる。

車両系建設機械では、「ドラグショベル」による事故の増加が止まらない状況。「クレーン」は昨年比減少となったが、共に重大事故に繋がる危険性が高いので引き続き注視していく必要がある。

図5. 原因・型別労働災害発生状況

※その他の発生内訳: 崩壊・倒壊、はさまれ・巻き込まれなど。

図 5-1 原因・型別労災発生状況（墜転落の内訳）

※その他の発生内訳：作業台、2階床、擁壁、階段、バルコニー、小屋裏など。

図 5-2 原因・型別労災発生状況（工具「切れ・こすれ」の内訳）

※その他の発生内訳：電動ドリル、インパクトドライバー、ホールソー、ガラス、部材など。

図 5-3 原因・型別労災発生状況（車両系建設機械の内訳）

※その他の発生内訳：ミキサー車など。

6. 休業日数別労働災害発生状況

労働災害の休業日数について、直近3年間では休業31日以上の割合が50%を超え高止まりしている。特に重大な災害につながる『墜転落』『電動工具』『車両系建設機械』『熱中症』について、元請業者・事業主が協力して労働者に安全衛生教育を行うとともに、現場での注意喚起やKYにより安全意識を高め、災害を未然防止することが重要である。

図6 休業日数別労働災害発生状況

7. 雇用形態別労働災害発生状況

令和6年の労働災害発生状況を雇用形態別に見ると、日本人労働者が全体の50.0%を占め、前年の40.9%から大きく増加している。一方、外国人労働者は5.8%と微増し、年々高まりつつある外国人労働者の比率と災害リスクへの懸念が浮き彫りになっている。中小事業主は3.1%で、前年(3.7%)よりやや減少しているが、事業主自身の現場作業への関与度による影響が考えられる。

注目すべきは一人親方の割合で、令和5年には49.9%と半数近くを占めていたものの、令和6年は41.2%に減少した。それでも依然として高い割合を占めており、個人で作業する一人親方の安全管理体制が引き続き課題であるといえる。

今後は各雇用形態に応じたきめ細やかな安全対策が求められる。

図7 雇用形態別労働災害発生状況

※不明が令和4年は1件、令和5年は0件、令和6年は0件。

8. 年齢層別労働災害発生状況

令和6年の年齢層別労働災害発生状況を見ると、令和5年に比べ30代で4.4%、50代で5.3%増加し、20代と60代では若干ではあるが減少傾向となり、40代の年齢層では5.7%の減少が見られた。令和6年全体で見ると50代の割合が25.9%、60代の割合が25.2%で、50代以上の年齢層で51.1%と大きな割合を占める事となり、前年より4.1%増加している。今後も低層住宅工事に携わる高年齢化と、若い外国人労働者の増加が予想されるため、中・高年齢と経験の乏しい低年齢層の災害発生比率の増加が懸念される。また、原因・型別労働災害発生状況では墜転落が最も高い割合を占めているため、労働災害防止に対して、安全衛生責任者（推進者を含む）および現場の管理・監督者は、現場巡視による作業者の日々の健康状態の把握をおこなうと共に、特に建て方作業や高所作業における適正配置を考慮し、正しい作業手順が確実に実施されているか確認し、危険の芽をいち早く摘むことが必要である。

また、特に被災者の多い中・高齢者作業員に対する新規入場者教育・送り出し教育を確実に実施し、職長・安全衛生責任者教育、能力向上教育など安全衛生教育を継続的かつ、定期的を実施することにより、更なる安全に対する意識を高めていくことが重要である。

図8 年齢層別労働災害発生状況

※不明が令和4年は1件、令和5年は2件、令和6年は0件。

9. 月別・曜日別・時間別 労働災害発生状況

月別の労働災害発生状況（図9-1）は、熱中症の影響が考えられる5月～10月の発生率が高く、WBGT値の低下に伴い発生率も低下する傾向が認められた。全産業における熱中症被災件数は過去3年間において増加傾向にあり、熱中症対策として定着した空調服に加えて、より冷却効果の高い水冷服やペルチェ素子による局所冷却機器の併用など、一層の対策強化が必要と考えられる。また、作業当日のWBGT値に応じた作業計画の立案・実施と共に、ウェアラブルデバイスによる作業者の体調把握やスポットエアコン等による休憩場所の冷却についても充実が望まれる。

曜日別（図9-2）の発生状況に関しては、月曜日～土曜日において14.7%～17.7%と3%差の範囲で推移しており発生率が平準化する傾向が伺える。引き続き作業環境の変化に対応する適切なKY活動の実施に加えて、週の後半においては疲労の蓄積による集中力の低下を招かないよう、無理のない作業計画の立案・実行が求められる。

時間帯別（図9-3）では午前中の9時台～11時台にかけての発生率が最も高く、次いで午後14時台～16時台に比較的高い発生率を示す傾向が継続している。月別の発生率の高い5月～10月においては昼前及び15時前などの休憩前の時間帯に疲労の蓄積による注意力低下が生じる可能性が高く、午前、午後の作業開始前のKY活動を励行し注意喚起を図るとともに、気候条件や労働の継続による疲労の蓄積に応じ適時の休憩を取得するなどの安全対策について、継続的に安全衛生教育を実施しなければならない。

図9-1. 月別 労働災害発生状況

図9-2 曜日別 労働災害発生状況

図9-3 時間帯別 労働災害発生状況

令和6年 労働災害発生状況

作業分類の「その他」(13)に対する回答 (図3)

- ・ クリーニング(3件)
- ・ 屋根養生作業
- ・ 屋根点検
- ・ 外部の防蟻工事
- ・ 現場管理(3件)
- ・ 足場
- ・ 地造成中
- ・ 樋(2件)
- ・ プレキャスト鉄筋コンクリートパネル建て方工事
- ・ 天井断熱材敷設
- ・ ユニットバス組立
- ・ 仮設(2件)
- ・ 警備
- ・ 現場作業後
- ・ 耐火被覆
- ・ 地盤改良
- ・ 荷揚げ(6件)
- ・ 運送
- ・ 玄関ドア養生
- ・ 集塵機の吸込作業
- ・ 断熱吹付
- ・ 柱状改良(2件)
- ・ 補修工事
- ・ 記載なし(2件)

職種分類の「その他」(26)に対する回答 (図4)

- ・ アフターサービス
- ・ サッシ(2件)
- ・ システムバス組立(5件)
- ・ ラス網工
- ・ 外構(2件)
- ・ 建方(12件)
- ・ 重機オペレーター
- ・ 地造成
- ・ 補強工
- ・ クリーニング(3件)
- ・ 土木作業員(3件)
- ・ PCパネル鉄筋工
- ・ 仮設
- ・ 外装(4件)
- ・ 耐火被覆(2)
- ・ 設備
- ・ 地盤改良(5件)
- ・ 番頭(3件)
- ・ 雑工(3件)
- ・ テラス工事
- ・ キッチン取付
- ・ 荷揚げ作業員(9件)
- ・ 警備員
- ・ 断熱吹付
- ・ 足場
- ・ 補修工(2件)
- ・ 溶接工
- ・ 記載なし(3件)

災害分類/墜転落の「その他」(19)に対する回答 (図5-1)

- ・ 2階仮床と共に墜落
- ・ 仮設昇降階段
- ・ 階段(4件)
- ・ 積み上げたボード
- ・ 未固定根太に足を掛け2Fから墜落
- ・ よう壁天端を移動中に転落
- ・ 道路から高低差ある敷地内に転落
- ・ 不安定な半柱を足場としたため足を滑らし墜転落
- ・ テラス屋根
- ・ 可搬式作業台(2件)
- ・ 掘削部分に転落
- ・ トラック運転席
- ・ 解体中の2階床から
- ・ 浄化槽

災害分類/切れ・こすれの「その他」(29)に対する回答 (図5-2)

- ・金物
- ・水系の軽子
- ・胴差面材(3件)
- ・解体工事にて木くずを運んでいた際、右膝内側を切傷
- ・ガラス取外しの際ガラスが割れて手の甲を切傷
- ・セメントミキサー通電のまま、ミキサー内部に手を入れ、指を裂傷
- ・階段段板養生材がズレてバランスを崩し、軽鉄ランナー小口で袖まくりをしていた右腕を切傷
- ・鉄筋上での作業中、切断した鉄筋で左膝上を切傷
- ・土間の配管固定ボルトを踏み刺傷
- ・木材合板の木口による
- ・スタッド(2件)
- ・組立部材(パネル)
- ・部材(6件)
- ・モルタルミキサー
- ・釘を踏み刺傷
- ・野縁

災害分類/車両系建設機械の「その他」(36)に対する回答 (図5-3)

- ・地盤改良機

災害分類/「その他」(90)に対する回答 (図5)

- ・刺す
- ・挟まれ
- ・感電(2件)
- ・足を捻る
- ・有害物等との接触
- ・(転倒に至らない) 躓く・滑る・踏み外す(5件)
- ・PCパネル工場の鉄筋加工場にて躓き転倒し、左手をねん挫。
- ・釘打ち機の針金が目に刺さる
- ・資材(外壁材)の落下
- ・建方作業中、フックが外れた部材で大腿部を負傷。
- ・挟まれ・巻込まれ(17件)
- ・フロンガスが目に混入
- ・ポンプを足の上に落下させた
- ・瞬間冷却スプレーに引火、爆発
- ・足場上で方向転換する際片足を踏み外し、もう片方くるぶしを骨折
- ・配管材を持ち上げた際、腰を痛める
- ・トルエン中毒
- ・膝をついて痛める
- ・玄翁で手を叩いた
- ・崩壊・倒壊
- ・動作の反動(3件)
- ・はさまれ(5件)
- ・巻き込まれ
- ・重量物(温水器)
- ・無理動作

災害分類<墜転落>の発生状況

- テラス屋根パネルの復旧作業時に、バルコニー手摺上から転落。
- 玄関ポーチ階段端に脚立を設置し、縦樋補修中に脚立から転落。
- 塗装工事完了後、報告書写真撮影のため足場1層目に上がろうとして転落。
- 外装タイル作業中に、バランスを崩して脚立から転落。
- テラス屋根材の取り外し作業中、屋根材が外れ転落。
- 解体工事で天井根太切断中、脚立から転落。
- 吹付工事中、吹抜部養生に足を踏み入れ転落し、胸椎を骨折。
- 仮囲い組立中、1層目を横移動中に転落し、頸椎を骨折。
- 天井下地施工中、梯子上で身を乗り出し転落し、足の裏を骨折。
- 敷地内歩行中、浄化槽蓋に乗った際に、蓋が外れ転落し、腰を痛める。
- 脚立上で玄関養生作業中、意識が薄れ転落し、背骨を骨折。
- トラックから下りる際に、足をペダルに引掛かけ転落し、背骨を骨折。
- 外壁塗装中、足場の作業床で、安全帯（フルハーネス）のフックを外して横移動しようとした際、バランスを崩して外壁と作業床の隙間から地面に墜落し、右手を地面についた。
- 屋根点検相談を受け、南面のバルコニーから6尺脚立を使用して屋根に上がり、屋根の北面で滑り、地上まで落下した。
- 外構作業終了後、重機をダンプ車両に積載途中、バランスを崩して重機から墜落し、頭部を道路アスファルトに強打した。
- 脚立の上から2段目より降りる際、3段目に掛けた足裏がつま先ではなく土踏まずに掛けてしまい、脚立が滑るようにバランスを崩し、咄嗟に飛び降りるように左足を地面に着き、痛めた。
- アンテナ取付作業後の清掃中にブロワーを持った状態で、安全帯を付けず、靴下のまま下屋根に上がったところ、足を滑らせて、約3.1mの高さから隣の空地へ墜落した。
- 足場2層目にて親綱施工のため足場上を移動しようとした際、足場材不足のため開口にしていた箇所があり、そこから1層下の層へ墜落した。
- 平屋現場屋内で軽天吊り金物固定作業をしているときに、作業台ステージ上で方向を変え移動しようとしてバランスを崩し、ステージから墜落。
- 足場解体作業中に、1層目の作業床を取り外そうとしたところ、幅400の作業床を外す為、高さ35cm程度の濡れた根がらみの単管に足を掛けた際、足を滑らせ、背中から倒れ、根がらみの単管とジャッキベースに左脇を強打した。
- 脚立から降りる際、地面についた足がふらつき転倒し、付近に立てかけてあった間仕切りランナーに腕が接触し切傷。

- 外部足場の1層目(約 1.6m)から地上へ建地を伝って降りようとした際、足を滑らせ墜落しコンクリート土間へ腰を打ち付けた。当日、朝から雨が降っており、足場材が濡れていた。
- 玄関ポーチのアーチ部分のタイル張り作業中、5尺脚立の4段目に乗り、降りようと右足を3段目に移した際、足が滑りそのまま右に墜落。手をついた後、そのまま右胸もポーチの角に強打して骨折。
- 解体工事職方が足場2層目で飛散防止ネットを張る際、単管足場を昇降する際にフックを掛けそこない、体勢を崩して隣地カーポートに転落。
- 内部足場の最上段部で、被災者がドライウォールサンダーでパテの研磨作業中、階段部分の開口部に気付かず足を踏み外し、開口部から転落。
- 建方職が2階足場作業床よりバルコニー腰壁を跨ぎ移動した際に、腰壁袖の中棧に足を掛けバランスを崩し転倒。
- 解体工が雨上がりに既存建物バルコニーの手摺り部分から飛散防止シートを設置するため、外部の単管に安全帯のフックを掛けようとした際、足を滑らせ前面道路に転落、通行してきた乗用車に轢かれる。
- 建方工が屋上ALCの上で隙間埋め作業後立ち眩み、気を失って建物と足場の隙間から2階バルコニーまで落下。
- サイディング下地処理業者が玄関ドア上で処理中に、ポーチ上に建てた脚立の開き止めを開ききらずに使用していたため、降りる際に脚立脚がポーチから外れて転倒。
- 被災者が脚立上で梁の組立作業中に、間隔が狭く入り辛かったので外周梁を押し広げようとしたところ、バランスを崩し脚立から転落。土間に顔、両手を強打。
- 大工職が天井間照明寸法計測の際、石膏ボード材料置場へ足を着いた際、最上部の張り出して置いてあったボード(1枚)を踏み抜き、落下し骨折。
- 建方工が屋上階梁のボルト固定作業中、屋上階梁から3階床に転落。
- 外部建具職が一人でアルミサッシ下地鉄骨の位置調整を行う作業中、脚立天端に座り身を乗り出した際、バランスを崩して転落。ALCに頭、左肩、左膝、右手を強打。
- 被災者が敷モルタル施工中、モルタル材を左手に持って深基礎内部に脚立を立て移動した際、バランスを崩し脚立と共にベース部へ転倒。右腕を強打し骨折。
- 建方職が中梁を落とし込む作業にて、掛矢で叩いた後、梁吊りクランプを外したつもりが外れておらず、クレーンで巻き上げた際、梁が受け金物から外れた衝撃で被災者がバランスを崩し、足場上に落下。
- 建方職がALCを外そうとする際、外すALCの上に乗った状態でALC受けプレ

ートのボルトを緩めてしまい、ALC と作業員の重さでプレートが傾き、乗っていた ALC ごと落下。落下時に ALC で脇腹を強打。

- 足場職が先行足場作業中、職長の指示を仰ぎに向かったところ、一部作業床を抜いていた箇所を見落とし転落。根がらみに右上腕部を打撲。
- エアコン工が7尺脚立を使用し、天井カセット本体のドレン管工事作業を行っていたところ、バランスを崩し後方に落ちそうになった為、自ら飛び降り着地した際、踵を骨折。
- 大工職が梁中の界壁ボード貼り中、5尺脚立からバランスを崩して転落し、左顔面を強打。
- 被災者が天井断熱敷き込み中、作業台上を移動していたところ、配管開口部隙間に作業台の脚が抜け落ち転倒。作業台に足をぶつけ骨折、床に右胸と肘を打ち付けた。
- 荷揚げ工が階段室で3階開口部の仮床復旧作業中、階段室の開口部半分には合板を敷き作業をしようと、合板上で不意に後ろ下がった際、開口部半分の仮床が無い箇所から1階床まで転落。
- 空調設備業者がエアコンの配管取付作業を行うため、屋外の不安定な勾配の場所に脚立を設置し脚立から下りる途中、脚立のステップから足を滑らせて転落。
- 大工職がユニットバス開口の脇で脚立を用いて引込建具を建て込み中、無理な体勢でビスを打ち込もうとしたところ、体勢を崩してユニットバス土間に転落。左肩を強打。
- 大工職がエレベーターピット内の足場で界壁ボード取付け準備中、足場の作業床が外れ、約1、8m転落。両肘・腰・右足首を強打。
- 電気工事者が階段吹き抜け付近で昇降ハシゴを昇る途中、ハシゴが上部下部共に固定されておらずハシゴが外れて床パネルに墜落。
- 大工職が2階から脚立を降ろそうしている途中、梯子から転落。
- 電気工が先行配線作業中、脚立上でバランスを崩し転落。脚立上に落下し、左わき腹をぶつけ肋骨を骨折。
- 天井ボード施工中、ゴムバンド固定無しの状態の脚立足場の突出部に足を掛けた際に足場板が跳ね上がり墜落した。
- 足場3層目の作業床で先行足場組立中に、垂直ネットを取ろうと移動している時に、足場作業床の段差に躓き、一側足場部分から墜落した。
- 玄関土間のコンクリート上で脚立を使用してドアクローザーを取付ている時に、脚立が滑り墜落した。
- 3尺脚立を使って壁ボードのビス止め作業中に、脚立から急いで降りたために、左足を脚立から踏み外し転落した。

- 足場 3 層目で堅樋部材を荷揚げ中、作業床開口部から 2 層目の作業床に墜落した。
- 足場 3 層目作業床上で足場の解体作業中、墜落制止用器具が建地に引っ掛かり、バランスを崩して墜落した。
- 可搬式作業台に乗って外壁の気密シートを施工時に、可搬式作業台の脚が滑り、バランスを崩して転落した。
- 建方工事中に 2 階から 3 階へ移動するための仮設昇降階段を昇降階段に乗って設置している時に、昇降階段上部が横に滑り倒れたことで、2 階 ALC 床上に墜落した。
- 1 階土間で脚立を使用して天井吊金物を取付作業中、脚立が右方向へ横転し、咄嗟に左方向へ飛び降りたが、着地した際に左足踵を骨折した。
- 建方工事中、2 階梁上での作業後、足場に戻ろうとして移動している時に墜落し、基礎立上り部で脇腹を打った。
- 足場解体中の 3 層目で、4 層目から部材を受け取り、地上の作業員に渡す作業している時に、バランスを崩し手摺、中棧を取外していた開口部から地上へ墜落した。
- 玄関ポーチで外壁のタッチアップ作業をしている時に、脚立を階段部に斜めに設置したため、バランスを崩し脚立の 4 段目から墜落した。
- 屋根養生シート撤去作業中、屋根上屋から下屋根に転がり足場手すり上に転落。
- スレート屋根の剥がし作業中、下地の木毛板を突き抜けて約 4m 落下。その際に解体途中のドアが首にあたり、その後コンクリート土間に落下。
- 1 階から 1.5 階に上がる階段を昇っている最中、階段が仮固定されておらず外れ、約 1.5m の高さから階段と共に落下した。
- 電気配線工事中、4.5 尺脚立の 4 段目に昇ってパネルにホルソーで開口の際、反動でバランスを崩して転落。
- 荷台のパレットを吊上げるため玉掛をした際、パレットが倒れそうになったため、パレットから 3m 下の地面に飛び降りた。
- 2 階開口部に仮床を設置する為、脚立上で受け材の取付作業を行っていた時、バランスを崩し 1 階床パネルへ墜落した。
- 屋根パネル組立作業中、パネル上で待機している時、治具がパネルに引っ掛かりパネルごと持ち上がったためバランスを崩し飛び降りる形で落ちる。
- 3 尺脚立の天板に上り作業中、バランスをくずして、右足から墜落し右足を骨折した。
- 脚立を使用してクロス下地用パテを打っていた時、右前足から踏み外し、転落し床で顎を打った。

- パラペット釘打ち施工中、8尺脚立の2段目よりバランスを崩して床に落下。
- 脚立を設置し、ブロックの目地詰め作業をしていた時、バランスを崩し転倒、鉄筋が出ており、そこに左太ももが刺さった。
- コーキング補修作業中、脚立が動いて態勢を崩して転落し、左肩を強打した。
- 造作工事中、階段より滑落し脇腹を受傷。
- 雨漏れ確認中2階バルコニーから屋根への梯子から地面へ落下。左側骨盤骨折。
- 建て方中、梁上から落下。大腿骨骨折。
- 吹付施工時、可搬式作業台の安全装置にホースが引っ掛かり、外れ転倒した。
- 開口部に昇降用伸縮梯子を設置する際、安全装置の掛けがあまく、上部を固定しようと昇ったら縮み転倒した。
- 玄関の壁紙施工中に脚立2台に足場をかけていた一台の三尺の脚立が倒れ床に転落した。
- 腰袋が足場手摺に引っ掛かり手摺が外れて墜落。
- 仮固定中の材に足を掛けてしまい、材が外れ墜落。
- 物を両手に持ったまま昇降階段を踏み外し転落。
- 天井クロス貼り中、脚立作業床の上で躓いて転落。
- トラック荷台から降りる際、材に引っ掛かり墜落。
- ウインチ荷揚げ材を取り込み時、足場作業床から墜落。
- 上からの落下飛散物を回避しようとして墜落。
- 脚立から降りる際に足を滑らせ転落。
- 材搬入後に足場養生シート復旧時に、建地を上り墜落。（フルハーネス未使用）
- 産廃を持ち、裏庭から擁壁天端を移動中にバランスを崩し、隣地に転落。
- 仮設はしごの固定が外されているのを知らず、足を掛けはしごと共に転落。
- 解体工事中に2階の床から軒樋を叩き落そうとしてバランスを崩し転落した。
- 大判の外壁タイルを3人で吸盤を使って荷揚げ中、吸盤が外れバランスを崩し足場の1層目（高さ1.6m）より転落した。
- 軒天施工中、脚立の足元に防水シートの切れ端が挟まったまま作業した結果、脚立が滑り、バランスを崩して転落した。
- 3階から2階へ移動する為に仮設階段を使用中、階段下部の固定がされていなかった為、階段が滑ってしまい墜落した。
- 2階建て方中に脚立から足を滑らせて後ろ向きに転倒。
- 小屋組作業時に6尺脚立の3段目から足を滑らせ転倒。
- 1階浴室壁ボードビス施工中に脚立から基礎耐圧盤へ転落。
- 小屋組中、6尺脚立の3～4段目より足を踏み外して落下した。

- 建方工事の玉掛け作業中、トラックの積み荷上から転落。
- 階段を急いで降りて右ひざを痛めた。
- 勾配天井のパテ処理中に脚立より転落。
- カーポート屋根部材を梁に掛ける際、脚立から足を踏み外し転落。
- 玄関ホール壁施工中に上枠付踏台からバランスを崩し転落。
- 内部の仮設階段から木材を持って降りる際に足を滑らせ転落。
- 落ち葉除けネットを取付け中に約 2m 下に落下。
- 屋根板金受け取り時、左足が踏ざんに掛からずバランスを崩し転落。
- 吹抜け部の仮床からバランスを崩し 1 階床パネルへ転落。
- 天井下地作業中に脚立の間を移動する際、体勢を崩し土間に転落。
- 幹線引込の作業中に脚立の足がズレ転倒。
- 下屋軒樋のブラケット施工中、ネットが破れ隣地に転落。
- 建柱車の上で足を滑らせ転倒後、地面へ転落。
- パテ処理中に足を踏み外し、900 mm 下の作業床に転落。
- 天井の仕上がり歩いて確認中に階段から転落。
- 荷下ろし中、L 字縁石がぐらつき転落。
- 内部階段を降りる際、階段にある段ボールを誤って右足で踏み転落。
- 電気メーターのカバー手直し時、脚立から転落。
- 柱金物施工中に脚立から転落し、下に置いてあった木材に頭をぶつけた。(ヘルメット着用有り)。
- 車庫の軒天下地組作業中の際に脚立から転落。
- UB 点検口から通線作業中に脚立から転落。
- 天井 PB 施工中に脚立を踏み外し、着地した際に右足捻挫。
- 天井クロスパテ施工中に足場台から転落。
- 間柱・筋違い施工中に脚立から転落。
- 脚立から降りる際、足を踏み外し転倒し手を着いた際手首を損傷。
- 側溝がグラつき掘削部に転落、置いていたバックホウに後頭部をぶつけた。
- 軒樋作業中、足場手すりに乗りバランスを崩し隣地に墜落した。
- 吹抜けの配線工事で仮床を外そうとしてバランスを崩し墜落した。
- 軒樋作業中、足場手すりに座り寄り掛ったネットが破れ隣地に墜落した。
- 建柱車のブーム収納中、足を滑らせ荷台から転落し背中を打った。
- 配線作業中足を滑らせ脚立から滑り落ちた。
- 玄関ポーチで作業時、降りる際にバランス崩し脚立から落下。
- 配線作業中足を滑らせ脚立から滑り落ちた。
- 足場設置作業中、移動する際転落。
- 妻壁部分の張り上げ作業時、脚立から落下。

- 小屋梁組み込み時、小屋梁より床へ転落。
- 大屋根の養生中、足が滑って落下。
- 梯子で1Fから2Fへ道具を運ぶ際、4段目で滑り転落。
- 2階床梁施工時、バランスを崩し落下。
- 2階梁を組み終え床に安全ネットを設置している途中に1階床まで落下。
- 2階仮床に移動した際、仮床材ごと1階床へ墜落。
- 仮床下地の固定されていない根太に足を掛けた際2Fから1Fへ墜落。
- 外壁紙貼り作業中、2.5m作業床高さより転落。
- 足場解体作業中、上層から下層へ渡す際、高さ4.5mから落下。
- 2階から1階へ降りる際、梯子中段で足を踏み外し墜落。
- 2階から1階へ降りる際、梯子の下から8段目から1階床へ落下。
- 墨出しをしている際、作業床の段差で踏み外し地面まで転落。
- 可搬式作業台のストッパーが外れていることに気づかず作業台に乗り転倒。
- 紐で足場を固定中、伸縮梯子が縮み高さ1.2mから転倒、落下。
- 後方を確認せずに後進したところ開口部から転落。
- クリーニング工事中に脚立を昇ろうとして足を滑らせ転落。
- 梁に足を乗せ、足元が滑り墜転落。
- 半柱を足場として、足元を滑らせ墜転落。
- 脚立を使用して、軒天のコーキング作業中、脚立から転落し、右膝を骨折。
- 脚立を使用して、梁を組む際、脚立から転落し、右足首を骨折。
- 雨養生中に足を滑らせ2階開口部より転落。
- キッチンのレンジフード`施工中、脚立の天端で作業中していた際、バランスを崩し転倒。転倒の際にダクトの切り口に手をかけ負傷。
- 脚立を使用して、石こうボード取付作業中、バランスを崩して転倒。
- 建方中に梁上からバランスを崩し、転落。
- 高さ2mの外部足場でシャッターBOXを取付中、自身で組替えた足場に乗り、外れて転落。
- 足場1層目で配線作業中、片足を踏み外し打撲。
- 外部換気フード取付時、移動中に2階作業床より転落。
- 建方作業中に脚立から転落し、足首を骨折。
- 2階壁建て方中に降雪により足を滑らせ転倒し、小屋組前の下屋部1階床に転落し骨折。

災害分類<切れ・こすれ>の発生状況

- カッターにて階段部材を加工中に刃先が滑り、左手掌を切傷。

- 床小梁切断作業中、グラインダーがキックバックし足を切傷。
- ボード切断中、丸鋸安全カバーを指で上げ切断中、刃が指に触れ裂傷。
- 屋外配管の作業中、150 径の塩ビパイプをベビーサンダーでカットしているとき、パイプを動かしながら使用していたため、サンダー部分が左手の甲に当り、切傷した。
- 石膏ボードの切断作業中に丸のこが引っ掛かったため、左手で工具の後ろの部分を押さえにいったところ、手袋が巻き込まれ、左手親指を切傷した。
- 屋根重ね葺きの下地工事の作業中、エア工具にて釘を太腿に誤射。
- FIX ガラス(約 1850×1950)を取り外すため、半分にカットし取り外そうとした際、カット面にひびが入っており途中で割れ右手の甲を切傷。滑り止め手袋は装着していた。
- セメントをミキサーで練っているときに、電源を落とさず、手袋をした状態でミキサー内部に手を入れ、ミキサーの刃で右手中指爪付近を裂傷した。
- 外構工事中、サンダーを用いて柵の立ち上がりをカットしている際、配管部材の全体を一度にカットしたため、右手人差し指の甲側、第二関節付近を切創した。
- 階段側から、腰壁部分のボード張り施工中、階段の養生材がズレ、バランスを崩し、軽鉄間仕切りランナー小口に右手が接触。手首下を切傷し 5 針縫合。長袖で袖まくりをしていた。
- 解体工事において、重機で分別した、まとまった木くずを手分別して運んでいた際、右膝内側から血が出ていたことに気づき、被災発覚。
- 基礎スラブ鉄筋上で、しゃがみながらの態勢で不安定作業、切断した鉄筋が左膝上に当たり、切傷した。
- 建方職が 1F の土間上でラーメン柱の耐火材 FP シートを取り付け中、材料を取ろうと釘打ち機を持ったまま横を向いた際、くぎ打ち機を誤射し左足大腿部に釘が刺さる。
- 屋根工事店が昇降階段踊り場で棟木切断作業中、手袋をした状態で電動丸鋸を使用し、左足が滑り体制を崩したところ、左手小指と丸鋸が接触し裂傷。
- 基礎下掘削坑内で被災者がジャッキ設置の為、既設鋼管杭柱頭部の切断をセーバーソーにて切断作業を行なった後、最終切断に使用していたサンダーがキックバックを起こし、保護メガネが跳ね上がりサンダー本体で左目上部を裂傷。
- 給排水設備業者職方が、トイレを組立て時にロータンクを床に落とし破損。床に手を着いた際、割れたロータンク破片で右手(甲側)人差し指を切創。
- 防水工が 2 階バルコニー下で清掃中、手が滑り軒天見切り材に右手人差し指をぶつけ裂傷。

- 外構職方が使用していた電動ディスクグラインダの研削砥石を交換しようとしたところ、電源が入り砥石が回転し、押さえていた左手親指を裂傷。
- タイル工がタイル張り作業中、タイルのバリを研削砥石で研磨していたところ研削砥石が破断し、砥石の破片で目の下を切創。
- 大工職が中腰姿勢で釘打機を用いて床合板貼り作業中、立ち上がった際に先端が膝にあたり釘を刺した。
- 建方工が小屋梁を柱に取付中、クレーンで吊った状態の梁が滑り落ち、梁のフランジを支えていた右手親指付け根を切傷。
- 足場工が足場材を運んでいる際、太腿が床上に置いてある外装材の鋭利な部分に接触し、右足太腿を裂傷。
- 荷揚げ工がPPバンドで束ねてあった金物類を担いだ際、油で滑ってきた金物に手が触れ、親指を裂傷。
- 荷揚げ工がスタッド搬入作業中、積み重なったスタッドの端を揃えようと手でスタッドを押した際、スタッドの端で手首を裂傷。
- VU管を切断しようとした時、左手の手袋の固定バンド（マジックテープ）が外れて垂れたままグラインダーを作動させて、回転部にベルトが巻き込まれ切創した。
- 太陽光材料の梱包を開封するためにPPバンドをカッターナイフで切断している時に、カッターの刃先が滑り、左手の人差指を裂傷した。
- 土間上の施工済みの配管を動かそうとした際に、仮置きしてあった界壁下地スタッドに、躓いた勢いで手が触れてしまい右手小指を裂傷した。
- 外部足場上にて胴差面材を間配りしている際に、材料が雨でぬれていたため、腕の上で滑り、材料の端の鉄板で手首あたりを切った。
- 胴差面材を肩に6枚担いで地面に降ろす際に、装着していたゴム手袋内部が汗で濡れていたため、手に力が入らず滑り、胴差面材端部の鉄板で手袋ごと切創した。
- トラックよりスタッドを引き抜こうと手前に引っ張った際、勢いよく手前に出てきて受けきれず、端部で右手首を挫創した。
- 美装工事中、ガラスの清掃後にガラスカッターにカバーを付けようとした時に、手元を見誤り左手親指に刃が接触し裂傷した。
- 胴差面材のカバープレート数枚を肩に担いで運び、降ろそうとしてしゃがんだ際に部材が滑り落ち、端部の金物と膝が接触し切創した。
- 卓上丸ノコにて造作材のカット作業中に保護カバーが造作材に引っ掛かり、それを外そうとして手を刃に近づけた際に丸ノコを始動させてしまい負傷した。
- 住宅現場で、物干し金物のビスキャップをカッターナイフで外そうとしたと

き、手元が滑って左手を切創した。

- モルタル攪拌作業後、ミキサの清掃時に電源を切ろうとした時、回転する攪拌ブレードと排出口に指を挟まれ切断した。
- 2階外部足場にてレッカー吊上げ中の壁パネル上部で組付け作業中、上部角の木口に小指が掛かり挟んでしまった。
- 壁パネルに釘打ち機で釘締め作業中、釘打ち機のトリガーに指をかけていたままで釘打ち機先端が左足膝部分に接触し被災。
- 大工作業中、床材をカットしている際に手元が狂って左手に当たった。
- 配管の結束バンドをカッターで切ろうとして、刃先が外れて配管を支えていた左手を切った。
- 仕上材の見切材をカッターで切断の際、右手人差し指を切ってしまった。出血が止まらず救急車を呼ぶ。
- サンダーで配管を切断中に体勢を崩し、ゴム手袋が巻き込まれ手首を損傷。
- 丸鋸使用時の脇見により鋸刃に接触し、指を負傷。
- 建方工事中の現場で壁の作製中に振るったハンマーの軌道が変わり、左人差し指を強打して出血した。
- 釘打ち機使用中、釘を連結していた針金が目に刺さる。
- 現場場内歩行時に膝高に積載された合板木口に足をぶつけ、切れ、ささくれが皮膚内部に入り手術に至った。
- 釘打ち機施工中、先端が滑り前方の別の大工の左足脛へ刺さり左下腿切創。
- 右膝の上に乗せて窓枠を切断中、カッターで膝上太ももを裂傷。
- 丸のこで、くさび加工時に左手手の平付根を裂傷。
- 丸鋸で木材を加工中にキックバックし、左手親指裂傷。
- サイディング施工中に釘打ち機にて釘を右足に誤射。
- クロスをカッターで切る際に、左手を切創。
- 丸鋸で野地板を切断しようとしたところ、キックバックして左手を裂傷。
- 丸鋸で筋違いを加工していたところ、左手を裂傷。
- 窓枠を右膝の上で加工中、勢い余ってカッターで右膝上太腿を切った。
- 丸ノコで栈木からクサビを作る作業で丸ノコがキックバックし左手を裂傷。
- 天井野縁下地施工中、釘打ち機で左手手の平へ打った。
- 野縁を押し込もうとした際、親指付け根の筋、神経を断裂。
- 外部鼻板取付中、水系の先端の軽子が外れ右目に刺さり眼球破裂。
- 上棟作業中、土台上を踏み外し土間配管を固定するボルトを踏み刺傷。
- 構造作業中、仮筋違い材が崩れ、釘を踏み刺傷。
- 仮筋材に釘打ち機を使用時、斜めに打った為釘が入らず跳ね返り左足に刺傷。
- 防湿フィルムを空中にてカッター切断する際、風にあおられ左手小指切創。

- 下地材を施工中、誤って釘打ち機で釘を刺した。
- 釘打ち機で打った釘が材を突き抜け手を刺した。
- 釘打ち機のワイヤーが飛んで目を損傷。
- 釘打ち機で打った釘が胸部に刺さった。
- 材を切断中、丸ノコがはじかれ手を切傷。
- 釘打ち機で移動中に誤射して足を打った。
- 建方作業中、金物付きの束を落としかけ、つかんだ際、金物で親指を負傷。
- 釘打ち機のワイヤーが飛来し目を損傷した。
- 発泡系断熱材を丸ノコで切断中、下に敷いた台座がズレ、押さえていた左手親指付根を切った。
- 外部ラス貼り作業中、誤って指を切傷。
- 工場にて片付中、・カッターにて手首を切傷。
- 2階床組み中、釘打ち機で作業した際、釘が跳ね返り指に刺さる。軽傷と思いい作業を続けたが2日後に化膿し、処置後経過観察のため入院。

災害分類<車両系建設機械>の発生状況

- 整地作業にて後退するユンボに左足を踏まれ足首を骨折。
- 残土荷下ろし中、ダンプアップ時に運転席が浮き、着地の衝撃で腰を骨折。
- 分譲地共同仮設トイレの前でクレーン作業をしていた際、吊っていたフレコンバックから材木が落下し、トイレに向かっていた被災者に激突した。
- ALCを玉掛けをしてクレーンで荷揚げ作業中、ベルトスリングのアイ部とフックとの掛かりが悪かったため、1本が外れてしまい吊荷が落下、被災者に激突した。
- 建方工事中にクレーンで荷降ろししていた際、何らかの理由でスリングベルトが破断し、吊荷下にいた被災者の頭上に鉄骨部材が落下した。
- 建方工事中に小屋パネルをクレーンで吊り上げた時、パネルが中央部分で座屈し、横でパネルを支えていた被災者の右肩周辺に激突した。
- 転倒したバックハウの下敷きになる。
- バックハウを運転中、掘削底に転倒し、運転席から投げ出される。
- 単管パイプを重機で抜く際にパイプがはじけ飛び接触。
- バックハウのクローラーが鋼管杭に乗上げ、背中に接触。
- 設備業者が重機で鉄板を移設時に、下部のプラ敷材のピンが飛び陰囊打撲。
- バックハウを移動させた際に、近くにいた被災者の背中にバケットが接触。
- 地盤改良作業中、重機から降りる際機械とキャタピラ部分に足が挟まれ骨折。

災害分類<激突>の発生状況

- 足場上でバルコニー面に向かってしゃがんだ状態で作業していた。立ち上がって振り返った際、番線が目の位置にあり、目に接触した。
- 木材ラックをずらそうとして骨組を押している時に手を滑らし、態勢が前のめりになり左脇腹が単管に激突した。
- 2階壁パネル組立中、突風によりパネルが回転し出したため、接触を回避するため、脚立から飛び降りた。
- バルコニー防水時、養生ブルーシートで見えなかった足場に左前頭部強打。

災害分類<激突され>の発生状況

- 空調設備の職人が、資材を取りに車へ向かう通路上を歩いていたところ、内装便トラックのあおり止め金具が通路上に出ており、右眼に接触。
- 足場工が、トラック荷台の材料架台をばらす際、600手摺材をハンマー代わりに下方から叩いて外そうとし、手元が狂い誤って左手小指を叩いた。
- 建方職が基礎内部土間上で荷ほどき作業中、積み上げられた柱がりん木から外れ上部の柱が荷崩れを起こし、近くで作業をしていた建方職の右足に落下し裂傷。
- 建方工が2段積していた上段の鉄骨を玉掛けして吊り上げ中、下段にあるラーメン柱が右足の上に倒れ負傷。
- 足場工がバルコニー付近の足場上で足場作業床を解体中、下部横架材(手摺)に登り立ち上がった際に、上部横架材(手摺)に頭部を強打。
- 外構作業員が遣方設置作業中、固定を確認しようと木杭の天端に出した被災者の手を、共同作業者がカケヤで打ち付けた。
- 建方工が2人で立て掛けていたコーナー外壁を横に置き換えていたところ、1本が倒れ被災者の背中に衝突。
- PC杭玉掛作業者がワイヤーで玉掛けした後、杭打ち機でオペレーターがPC杭を引き込んだ際に、施工済の杭頭と引き込みする杭がぶつかり、杭が跳ね上がり玉掛作業者の足に落下。
- 立掛けてあるパーティクルボード14枚が倒れ、大工職方の右足太膝を強打。
- 足場解体作業従事者が、手摺材を取り外す際、部材を抑えていた右手人差し指をセットハンマーで殴打し、骨折。
- 基礎工が、ダンプトラックのリアゲートを開く際、上部のヒンジが固かった為、力任せに手前に引っ張り、バランスを崩してリアゲートから手が離れ、リアゲート上部ヒンジ部と左骨盤付近が接触。
- 建方職が足場上で屋根の野地板の固定作業中、ゴミが右目に入り負傷。

- 外構業者がポール灯の配線出し・配管・配線固定作業中、固定の為の鉄筋を地面に打ち込み途中、屈んだ際に鉄筋端部に右目が接触。
- 据付工事中、足場から落下したシートが当たり右手を受傷。
- 土留めブロック解体作業中、ガラ拾い時に土留めが倒れ下敷きになった。
- 壁起こし中にジャッキに使用していた材が折れ、壁が倒れ下敷きになった。
- 車が路面凍結によりスリップし腰椎捻挫と頸椎捻挫。

災害分類<飛来落下>の発生状況

- サンプル解体中、フレーム切断中にガラスが落下し、手に刺さる。
- 2階柱モルタルのハツリ作業中、モルタルが落下し、腕に接触し裂傷。
- 大工見習がパーティクルボードを作業台に移動中、手を滑らせて左足の中指に落下。
- 建方職がバルコニー内部で腰壁取付作業中、屋根職が指示者の不在中に屋根材を荷揚げしており、ユニック操縦者が目視の出来ない位置の足場建地に接触させ、吊り荷部材が落下。作業をしていた建方職のヘルメット鏝に落下し、着用していた眼鏡も圧迫され、鼻を骨折。
- 建方工事中に、玉外し後の上昇中の玉掛け治具が足場のコマに引っ掛かり建地が抜け、落下した建地が被災者の左手に激突した。
- 1階階段室吹抜け部において壁ボードに固定不良が無いか確認中、上部で仮張り作業をしていた壁ボードが落下し、被災者の左肩に激突した。
- 置場から落下する電動ドライバーを咄嗟に掴もうとして刺創。
- 建方作業中に天井根太を仮に立て掛けたところ倒れて近くの作業員の頸部に当たった。
- 1階で手摺の材料の荷揚げをしていた際、材料を2階へ投げ上げたが、投げた材料は2階の間柱に跳ね返り、被災者の顔面に直撃した。
- しゃがんで作業中、立てかけていた石膏ボードが倒れ、右肩にぶつかった。その弾みで、凹凸のある木材に右わき腹をぶつけ、肋骨にひびが入った。
- 手摺材を受け取る際、脇見をし左脛に接触し裂傷。
- 外壁業者が足場から胴縁を落下させ、下にいた大工業者の足に飛来落下。
- 梱包からばらけたフローア(床)材の一部が顔に当たり打撲・擦りむいた。
- サッシ取り付け中にサッシが外れ鼻を切傷した。
- 仮設フェンスを撤去しようとしたら接していたブロックが倒れ、被災した。

災害分類＜転倒＞の発生状況

- アウトリガーに足を掛けてクレーン車へ登ろうとした時、足を踏み外し骨折。
- 据付工事中、開口部に足を踏み入れ転倒し左手首を裂傷。
- 石膏ボード搬入中、床段差に足を取られ転倒し、左手を骨折。
- 屋根工事、下屋に置いた段ボールで足を滑らせ転倒し、足首を捻る。
- 電気配線作業中に、ユニットバスの開口部付近に脚立を立てて作業していた際、脚立の足が開口部に落ちてバランスを崩し墜落。転倒の際、土間に左手を突き手首を骨折した。
- 解体工事・散水作業中、バランスを崩し転倒、右手舟状骨を骨折した。
- 地中梁横に余堀りのある基礎工事の現場内で、ガス管を運んでいる時に、余堀り部分を跨ごうとして、余堀り部分に足元をとられ転倒した。
- 電気配線作業中、移動をしようとした際、足元に転がっていた配線ケーブルに足を引っかけてその場で転倒し床に腕をついた。
- 二階床上、弱電配線を引っ張って、たるみを解消するために元の位置に戻る際中、前向きに歩行中、転倒しそうになり、右足をひねり、右足小指付け根にヒビが入った。
- マンションリビングで天井補強作業時、ステージ足場に乗り、作業中にバランスを崩し、スラブに転倒して足首と膝をねん挫した。
- 12枚程度立てかけていた間仕切りプレカットボードの中央付近からボードを引き抜こうとした所、手前のボードを支えきれずに4枚程度が倒れかかった。バランスを崩し左足をはさまれながら転倒、その際、平置きしてあったボードに右肩甲骨あたりを強打した。
- 建方職が建物内を移動中、段差に躓き転倒。小梁に右手をつき、手のひらを裂傷・打撲。
- 被災者が作業通路移動時に、仮設トイレ付近のステップに足を置いた際、ステップが滑りトイレ囲いとステップの間に右足首を挟み負傷。
- 水道工が屋内の土間上で先行配管施工中、施工済の配管につまずき転倒。
- 給排水設備工が排水管（長さ約2m）を運搬中に、土間に固定された配管に躓き、バランスを崩し転倒し左目下瞼を切傷。
- 大工工事職が1階床パネル施工中に、ズボンの裾に排水管固定金具のネジ部が絡み、バランスを崩し転倒。転倒した際に左足首を捻る。
- 大工職が大引施工時に、両手に材料と工具を持ったまま移動中、大引に足を引っ掛け転倒。右腕内側を裂傷。
- 基礎工が基礎外周部にて、内部土間の均し作業中、外周部から内部へ移動しようとした際に躓き、左大腿部がアンカーボルトに接触し、挫創した。
- 大工職が共用階段部で工具を入れた箱を搬入中、階段を急いで登りきった際

に左足かかどが階段天端に引っ掛かり、共用部に保管していた資材を入れた箱に、抱えていた箱ごと腕を突っ張った形で倒れた。

- 被災者が根徹底で型枠資材を間配り作業中、足元の鉄筋に躓きバランスを崩し転倒。地面に手をついた際、持っていた型枠資材に右手親指を挟んだ。
- 軒天施工中、脚立の設置位置に傾斜があり、脚立から降りた際、傾斜部で足首を捻り転倒した。
- 建方工事中の2階床上で、移動しようと足を踏み出した時、ALC床が敷かれておらず、慌てて鉄骨部に足を置いたが表面が濡れており滑り、右前方へ転倒した。
- 住宅現場の外部足場で軒樋作業中に上向き作業をしていて、作業床の隙間に右足を踏み抜くような形で転倒した。
- 立て掛けて保管されていた重い資材を無理に引き出そうとした際、バランスを崩して、足元がもつれて転倒した。
- 床パネル施工中に、固定されていない床パネルに乗った際に踏み抜き転倒、その際に回転した床パネルの角に脇腹を強打した。
- 柱の垂直度を確認している時に、土間に置かれた部材の上に乗って移動中、養生シートに足を引っ掛け転倒した。
- 足場の材料を搬入・間配り作業中、排水桝の出っ張りに気づかずつまずいた際、バランスを崩して足首をひねってしまった。
- 2階床組立完了後の床ブルーシート養生中、階段室のブルーシート上を歩いてしまい階下に落下してしまった。
- ポーチ階段を一段降りた時に足元が滑り、50cm低い道路に転倒。
- 軒天材(45×45)を持ち足場を移動中、作業床から右足を踏み外し背中から地面へ墜落。
- 材木の奥にあった釘を取ろうと跨いだ際に、左後ろ足が材木に引っかかり転倒した。
- 屋根副資材を運搬歩行中、道具袋が外部足場の建地の突起(コマ)に引っ掛かり、バランスを崩して(転落なし)、足場作業床に左肩を打ちつけた。
- 練ったモルタル運搬中に足場に根がらみに躓き転倒する。
- 歩み板の段差に躓き転倒。
- 材を取りに歩行中、左足首をひねった。
- 歩行中、延長コードに乗ってしまい転倒。
- 材を取りに行く際に躓き転倒。
- 土台設置作業中にバランスを崩し、アンカーボルトの上に尻もちをついた。
- 外装ボード貼り作業中に敷地の凸凹に躓き転倒し、足を捻った。
- 足場上で外部軒天材の施工中に、足元を確認せずにベランダ内部に戻ろうと

して、足場から足を踏み外して転倒し、ベランダ手すりに左わき腹を強打した。

- 現場道具搬入時、階段下りにて養生材が滑り転倒。
- ゲートのあおり止め用のトラロープにひっかかり、転倒。
- 柱のホゾにつま先が引っ掛かり大引受け金具で左足脛脛側面裂傷。
- 通路を移動中、2段ブロックに膝裏が引っ掛かりバランスを崩し転倒。
- 土台敷きの際、貧血になりアンカーボルトと共に転倒。
- コラムを移動中にバランスを崩し転倒、左手薬指を切断。
- 休憩から現場に戻る際に坂道で転倒。
- 足場解体作業中に転倒。
- コンプレッサーを運んでいる際に転倒。
- バケツを洗うため、仮設水道に向かう途中でロープに引っ掛かり転倒。
- 仮設敷パネルを歩行中敷パネルが沈み込み、右足首を捻り骨折した。
- 道具を取りに行く際、玄関階段で足を滑らせ転倒し腰を強打。
- 間柱持ち移動中、資材に足が当たり転倒、左膝をつき裂傷した。
- 荷物を持って足場と隣地の間を移動中、バランスを崩して隣地に転倒。
- 構造柱を2人で運搬中、足を取られ転倒。柱と床に左手を挟まれ指先を切断。
- 作業台の上で作業中、バランスを崩し転倒。
- 梯子を上ろうとした時に足元が滑り転倒。
- 斜面で足を滑らせて転倒。
- 梁に足を乗せ、足元が滑り転倒。
- 高低差のある玄関を下りようとして、足を滑らせて転倒。
- 梁材を移動していたところ腰痛になった。
- 延長コードで躓き転倒。
- 釘打ち機で誤って自分の胸に釘を打ち付けた。
- 熱中症が発生。
- 熱中症が発生。
- 熱中症が発生。
- 掃除機で埃をすいとる作業中、バランスを崩して転倒。
- 屋根防水紙施工の際、転倒した。
- 基礎型枠撤去作業中、立ち上り部をまたごうとした際、アンカーボルトに作業ズボンをはっかけ転倒。転倒の際、基礎コンクリートの角に左ふくらはぎをぶつけ負傷。
- 室内から室外に移動中、仮設足場に足を引っ掛け転倒し打撲。

災害分類＜熱中症＞の発生状況

- 上棟工事完了後、帰宅途中の車内にて嘔吐を繰り返した。熱中症。
- 解体建物の小屋裏で作業、炎天下でスレート屋根を取り外していた。皮膚を守るために空調服を脱ぎ、作業着を2枚重していたところ、体調が悪くなり、熱中症の症状があったため救急車を手配した。
- 8時から屋根上にて瓦葺き作業、10時の休憩を取った後、作業に戻って約30分後、足の痙攣から体調が悪くなり病院搬送、熱中症と診断。
- 屋根上にて塗装作業中に熱中症発症。
- 2階建物内において、天井断熱材を入れる作業をしていた。10時から30分の休憩後、作業開始したが、体調がすぐれず、塩分タブレットを摂取し、引き続き休憩をしたが、体調が回復せず、体がつり、立てなくなり、熱中症を発症。
- 朝から屋根瓦解体作業を実施。1時間置きに20分程度の休憩を取りながら進めたが、昼休憩後14時頃から頭痛と腹痛を訴えたため休憩をしたが嘔吐し、救急車にて搬送、熱中症。
- 宅地造成現場で敷地境界構造物の基礎掘削後の整地作業中、炎天下の状態が続いたため、熱中症になり転倒した。
- 昼食休憩時に気分が悪くなり帰宅。帰宅後改善しないため病院で受診。（熱中症）
- 外構工事責任者が休憩後立ち上がった際に気分が悪くなり、再度腰かけたが意識が朦朧として横に倒れ込み、顔面を間知ブロックにこすりつけ切傷。（熱中症）
- 補強工が、屋外にて杭施工作业中、意識朦朧。（熱中症）
- 外構職が昼食後屋外で2時間ほど砕石作業のち、車中にて休憩中、意識が朦朧とし救急車を要請、病院へ搬送。（熱中症）
- 大工が昼休憩中、吐き気を伴い体に力が入らなくなった。（熱中症）
- 作業者が先行外構工事時にモルタル運搬作業中、体が重くだるくなり動けなくなった。（熱中症）
- 職方が玉掛作業完了後、片付け中に体調を崩し嘔吐。（熱中症）
- 屋上シート防止工が15時休憩時に熱中症の症状あり。OS-1を飲ませてたが、手先のしびれが見られ救急車にて搬送。吐き気と全身の痺れあり。（熱中症）
- 被災者が瓦揚げ機に瓦を積み込む作業を終え帰宅途中、足がつる等の熱中症の症状が出たため受診。（熱中症）
- 足場工が足場上部解体中に、めまいと息苦しさを感じ、地上におりて座った状態で動けなくなった。（熱中症）
- 基礎補強工が柱状改良施工中、体調不良を感じ冷房の効いた車内にて休憩。

その後事務所に戻るも体調改善せず救急車にて搬送。（熱中症）

- 耐火被覆工が耐火被覆工事後の昼休み中に頭痛を伴う体調不良が発生。（熱中症）
- 建方工が荷受け作業中、10 時休憩の際に体調に異変を感じ横になっていたが、休憩終了時に自力で起き上がれず、救急車にて搬送。（熱中症）
- 基礎職方が碎石運搬作業を終え、資材を降ろそうとした際に左足が攣ったので、休んでいたが嘔吐し、救急車にて搬送。（熱中症）
- 基礎職方がコンクリート打設作業中に体調が悪くなり顔色も青ざめた状況であった為、日陰で休憩をとり OS-1 を接取。大事をとり受診。（熱中症）
- 荷揚げ工が荷揚げ作業中に意識が朦朧とし倒れ、救急車にて搬送。（熱中症）
- 外構職方が現場トラック荷台にて作業中、手の痺れを感じた後に嘔吐。（熱中症）
- 基礎工が着込んでいる状態で埋戻し作業中、足がつり顔色が悪くなってきたため救急車にて搬送。（熱中症）
- WBGT 値 33℃の中で、基礎工事の型枠間配り中に足がつったため、職長に体調不良を訴えた。
- WBGT 値 33℃環境下で、基礎工事において鉄筋間配り作業をしているときに、体調不良を訴え回復しないため、救急車で搬送した。
- WBGT 値 31℃の作業環境の中、屋根上で瓦葺き作業中に軽度の熱中症を発症した。
- WBGT 値 28℃の作業環境で、室内での床上げ作業中に、足腰が痙攣しだして熱中症の症状となった。
- WBGT 値 32.6℃の作業環境で、ユニットバス組立工事中に体調が悪くなり、嘔吐やしびれといった症状があらわれたため、救急搬送した。
- WBGT 値 31℃の作業環境の中、建物2階で耐火被覆作業をしている時に頭痛、めまい、体のだるさ等の症状を発症した。
- WBGT 値 31℃の作業環境の中で、前面道路の切り下げ工事中に熱中症の症状を発症した。
- BGT 値 32℃の作業環境で、基礎型枠解体後の型枠をユニックにて積込み作業中に熱中症の症状が発現し救急搬送した。
- WBGT 値 32.3℃の作業環境で、先行足場組立中に熱中症の症状が発現し救急搬送した。
- 会社へ出勤前の宿舎で頭痛の自覚症状があり、病院にて診察の結果、腎不全、熱中症の疑いがあり点滴治療した。
- WBGT 値 31.6℃の作業環境で、現場で作業時に体調不良があったのだが、その日は作業を続け、翌日体調が戻らなかったため病院で診察、熱中症と診断

された。

- WBGT 値 28℃の作業環境で、太陽光パネル設置作業準備中にめまい、吐き気をもよおす。
- WBGT 値 32℃の作業環境で天井クロス貼り作業中、手に痙攣のような症状が生じ、体調の不調を感じた。
- WBGT 値 25℃の作業環境で外壁面材を間配り中、頭痛がしてきたため休憩したがよくなり救急搬送した。
- 溶接作業中に調子が悪くなり極度の脱水症状となる。
- 空調服午前中未着用、午後着用していたが 15 時熱中症の症状発症。
- 足場施工中、足・腕がつる症状発症、応急処置後、緊急搬送。
- 朝から足場施工。19 時頃になり熱中症症状により救急搬送。
- 昼食をとらず作業を継続中に息が苦しくなり熱中症の症状が発生。
- 建方作業終了間際に足が攣り熱中症の症状が発生。
- 先行足場組立て作業の休憩中に熱中症の症状が発生。
- 大工が梁組作業中、体調不良により嘔吐。
- 昼休憩中に身体が攣り始め熱中症の症状が発生。
- 作業終了時、体調不良により帰宅後、回復せず病院へ搬送。
- 夕方に気分が悪くなり意識が朦朧としてきたため病院へ搬送。
- 間柱施工中に熱中症により意識が遠のき、脚立から転落。
- 建て方作業時に熱中症。
- 軒天施工時に熱中症。
- 外壁作業中に熱中症。
- 石膏ボードの荷揚げ作業中、体調が悪くなり熱中症で搬送。
- 足場組立作業中、15 時半頃体調不良を訴えたため病院へ搬送。
- 熱中症が発生。
- 熱中症が発生。
- コンパネを移動中に足元の材料に躓き転倒した。
- 移動中に突起物に躓き転倒した。

災害分類<その他>の発生状況

- ハンドミキサにてモルタル攪拌中、芯棒に手袋が巻き込まれた。
- 据付工事中、基礎とユニット間に指を挟まれ骨折。
- サッシガラス荷受中、強風により煽られたサッシと梁の間に手を挟む。
- ボード荷揚中、立掛けたボードが倒れ押さえた際に手摺との間に手を挟む。
- クロス工事中、脚立から下りた際に、床に置かれた道板を踏み足首を捻る。

- 既存ブロック塀内側を掘削中、既存ブロックが倒れ、下半身が挟まれる。
- 壁板設置中、基礎金物に乗せた際に金物が脱落し、壁板と基礎間に指を挟む。
- ブラケット取り付け中、インパクトが勝手に動き、ブラケットに指を挟み切断。
- 地上 60 cm程度の高さの足場作業床上を通行中、出隅部分で方向転換する際に内側を通ったことにより、右足がずり落ち、左足に無理な力が加わり外側くるぶしを骨折した。
- 作業員が三人で暗渠下地打設作業中に、バックホウで生コンが入ったホッパーを吊り旋回した際、バランスを崩して転倒。ホッパー近くで作業していた作業員がホッパーに挟まれ被災。
- 建方玉掛作業員が外装出荷材の荷下ろし作業中、クレーンで吊り上げた外壁付き軸組を地上で受けようとした際、風で回転した吊り荷を停止させようと基礎天端に上がり吊荷を掴んだところ、バランスを崩し左足から地面に着地した際左足首を捻る。
- 基礎工が敷地内の平坦な地面にて、メタル型枠 4 枚を抱きかかえて歩行している際、左足首を捻る。
- 建方職が、トラック荷台の上で鉄骨の梁を荷下ろし作業中、梁が荷崩れし左中指を挟んだ。
- 仮設鉄板敷作業員が敷き込まれた鉄板を移動中、孔無し鉄板を搭載型トラッククレーンで吊り上げた際、立吊クランプが鉄板から外れ鉄板が右足に接触。
- 給排水設備業者が、上下水道取出し工事中、埋め戻し工事の際にタンピングランマーが左足親指に接触し粉碎骨折。
- 建方職が外装荷受け作業中、梁をクレーンで吊り上げた際に、隣の梁にナイロンスリングが引っかかっており、吊り上げようとしていた梁に倒れ込み、梁を抑えていた作業員の右手薬指にぶつかり裂傷・骨折。
- 2人で整地作業時に、バックホウオペレーターが作業をするためバックホウを後方にさげた際、被災者の左足首がキャタピラに巻き込まれた。
- 基礎職方が生コン打設前に型枠の上を移動歩行中、型枠上でバランスを崩して踏み外し、型枠内側で左脚脛部を裂傷。
- コンクリートポンプ車のオペレーターが、ポンプ車後部にあるホッパーへ生コン車シュートを移動時に、生コン車運転手が停止の合図に気づかず、オペレーターがポンプ車と生コン車に挟まれ左足膝裏部分を裂傷。
- 建方職が軒天井材料を持って住戸内を移動中、間配りされた大引きを跨ぎ、足を着いたところ足首を捻挫。
- 外構施工者が道路停車中の車内で瞬間冷却スプレーを使用した後、ライターを着火したところ運転席室内で爆発を起こし、施主建物および周辺道路、向

かいのマンション敷地内にガラスが飛散。

- 建方職が2人で2階開口部から鉄パレットを出し、足場から吊り降ろしている際、足場に引っ掛かったパレットを外した時に急激に落下。左手親指を足場の手摺と鉄パレットに挟まれた。
- 大工が加工用作業台上で電気ドリルを使用し、パーティクルボードに配管用の穴あけをする際、刃が噛み、回転の反動で右手甲骨折。
- 基礎工事職方が鉄筋間配り作業中、残土搬出作業中の重機と接触し右足首上部2箇所骨折。
- 外構職がトラックのあおりを復旧する際、1人がバックホウでトラックのあおりを吊り、もう1人がトラックのあおりを取り付け作業中、左手人差し指をあおりではさみ裂傷・骨折。
- 建方職が内部足場上で外周梁取り付け作業中、外れかけの床梁の通しボルトを戻そうとしたところ左手小指を1階軸と床梁に挟んだ。
- 舗装工が場内片付け作業中、バック走行の為切り返したローラー車の後輪に足を轆かれた。
- 被災者がバックホウの手元としてトラックから地面に鋼管杭の束を下ろす際、鋼管杭がずれて杭とコマの間で右手中指を挟んだ。
- 防水業者が足場上を移動中、一部足場の歩み板幅が変わっていることに気づかず足を踏み外しそうになり、左足が足場のブラケットに引っ掛かり、左足首を脱臼骨折。
- 被災者が階段土留裏から平場に移動しながらプレートランマを用いて転圧作業を行っている際、平場の整地・転圧を行っていた重機オペレーターが重機を後進させたため、被災者の足とキャタピラが接触。
- ダンプのリアゲートを取付中に、被災者がゲートを持っている状態で他の作業が無理矢理はめ込もうと蹴り込み、荷台とゲートの間に指が挟まれた。
- 立て掛けた20枚の石膏ボードから奥のボードを取り出そうとしたところ倒壊し、支えようとしたが支えきれず石膏ボードと床に足が挟まれ打撲した。
- 建方工事の現場で、1階土間上で外壁パネルを柱とボルト締めする際に、内側に傾いた外壁パネルを支えようとした時に右足が後ろに滑り、右足首を痛めた。
- 基礎土間内でラス型枠を各土間に配ろうとしている時に、資材を持ち上げようとして、ぎっくり腰になった。
- 基礎型枠パネルの剥離剤噴霧作業をしている時に、噴霧器のノズルの向きが変わり、空中に散布された剥離剤が右目に付着した。
- 3尺脚立に乗りクロス貼付け中、足に力を入れた時、右足小指を骨折した。
- 業務用冷蔵庫の配管切断中、フロンガスが目に入し受傷。

- 建方作業中に部材(柱)にフックを掛け、巻き上げている際にフックが外れ、部材が作業員の足に倒れ掛かかり、大腿部を負傷した。
- プレキャスト鉄筋コンクリートパネル製造工場の鉄筋加工場で、作業移動時に躓き転倒し、左手をついた際に左母指を突き指ねん挫した。
- 基礎内部の水抜き作業中ポンプの電源コードを引っ掛け、足指上にポンプが落下。
- 材の転倒を防ごうと咄嗟に出した足が挟まれた。
- 引込線に防護管無く、劣化した配線が足場に触れ足場上の作業員が感電。
- 引込線に防護管無く、劣化した配線が足場に触れ建物に電気が伝わり内部作業員が感電。
- エコキュートの運搬中、被災者は狭いコーナー部での方向転換をした際、無理な体勢で左足を踏ん張った時、左ひざに痛みが走った。
- 室内にてシンナーを使用した補修作業中に気分が悪くなり嘔吐、入院。
- 釘を柱に打ち付ける際に、釘を抑えていた左手人差し指を玄翁で叩いた。
- 膝をつきキッチンを取り付け中に膝を痛めた。
- 階段を移動中に室内足場をくぐろうとして足を捻った。
- トラックから、木製の板を降ろす際、ささくれが刺さり、除去手術をした。
- 外部配管施工中、配管材を持ち上げた際、腰を痛めた。
- 加工台に資材(外壁材)を乗せていたが、加工台が耐えきらず破損し、真下に落下した。その際に足の小指を骨折。
- 床組み中、釘打ち機の釘連結針金が飛び、目に刺さる。

会 社 名 _____

ご担当者名 _____

T E L _____

貴社の請負住宅および建売住宅のうち、3階建以下の戸建住宅・集合住宅工事において発生した災害（**通勤災害を除く**）で休業1日以上のものについて、ご報告ください。

貴社が、以下A～Fの団体に複数加入されている場合、各々の団体から当調査用紙が配布されますが、報告書は工法別に集計して各団体へ返送して下さい。

ご注意：①同じ報告書を複数団体へ提出しないようにお願いいたします。（工法別の集計報告書を、各々該当する団体に提出することはかまいません。）

②労働災害発生件数が0件でも完工棟数等をご記入のうえ、報告書をご提出下さい。

（貴社が加入されている団体の労災発生率を調査するために、ご協力をお願いいたします。）

③増改築・リフォーム工事を関連会社等別会社（A～F 団体未加入）が元請として請負っている場合は、それを計上する必要ありません。

以下1～4の各質問にご回答ください。

1. 貴社加入団体（複数加入なら該当団体全てに○印を）

- A. プレハブ建築協会 B. 日本木造住宅産業協会 C. 日本ツーバイフォー建築協会
D. 全国住宅産業協会 E. 輸入住宅産業協会 F. JBN・全国工務店協会

2. 当報告書の提出先団体（該当団体1つに○印を：同じ報告書を複数団体へ提出しないで下さい。）

- A. プレハブ建築協会 B. 日本木造住宅産業協会 C. 日本ツーバイフォー建築協会
D. 全国住宅産業協会 E. 輸入住宅産業協会 F. JBN・全国工務店協会

3. まとめ（工法区分ごとに集計していれば工法ごとに記入して下さい。該当工法を○で囲んで下さい。）

工法記号(イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ・ト・チ)

- イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ハ. 木質プレハブ ニ. 鉄骨在来
ホ. 鉄骨プレハブ ヘ. コンクリート在来 ト. コンクリートプレハブ チ. その他(混構造等)

貴社の令和6年1月～令和6年12月の工事棟数
(工法別)

工 法 ト ハ ・ ・ チ ニ	ホイ ・ ・ 新築工事 年間 完工棟数	棟
	工 ・ ・ 増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
	・ ・ 解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和6年1月～令和6年12月の工事棟数
(工法別)

工 法 ト ハ ・ ・ チ ニ	ホイ ・ ・ 新築工事 年間 完工棟数	棟
	工 ・ ・ 増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
	・ ・ 解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和6年1月～令和6年12月の
労働災害発生件数(上表工法分)

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件
---------------------------------	---

貴社の令和6年1月～令和6年12月の
労働災害発生件数(上表工法分)

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件
---------------------------------	---

- ・労働災害年間発生件数無しの時は0件とご記入ください。
- ・集合住宅は戸数ではなく棟数にてご記入ください。

4. 労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）

*別紙の**労働災害年間総発生件数内訳(休業1日以上)報告書**に記入して下さい。用紙が足りない場合はコピーしてご使用下さい。

*工法ごとに集計している場合は、1工法1用紙にご記入下さい。

*別添の「労働災害分類番号一覧表」ならびに 報告用紙No.2に記載した記入例を参照してご記入ください。

以 上

令和6年1月～令和6年12月低層住宅労働災害発生報告書（戸建住宅・低層集合住宅 No.2
労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）報告書

会社名

当用紙を工法区分ごとに集計している時は以下の工法区分の一つに○を付けて下さい。

- イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ハ. 木質プレハブ ニ. 鉄骨在来
ホ. 鉄骨プレハブ ヘ. コンクリート在来 ト. コンクリートプレハブ チ. その他（混構造等）

※記入欄が足りない場合は、同じ書式で別紙にご記入下さい。

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別						
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡	
1																		
	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄						
車両系建設機械: 36. その他 記入欄				発生状況:														
2																		
	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄						
車両系建設機械: 36. その他 記入欄				発生状況:														
3																		
	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄						
車両系建設機械: 36. その他 記入欄				発生状況:														
4																		
	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄						
車両系建設機械: 36. その他 記入欄				発生状況:														
5																		
	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄						
車両系建設機械: 36. その他 記入欄				発生状況:														

※記入例

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別						
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡	
記入例 ①	6・19	月	16:00	1	45	1	6	4	13	イ	2		○					
	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄						
車両系建設機械: 36. その他 記入欄				発生状況: 外壁張替え作業中に足をすべらせて2階作業床から転落。														
記入例 ②	7・25	火	10:30	1	32	1	1	1	80	ハ	3		○					
	災害分類: 90. その他 記入欄 プライヤーで指を潰す。			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄						
車両系建設機械: 36. その他 記入欄				発生状況: 鉄板をプライヤーではさんで引きはがそうとし、はさむ時に指を潰してしまった。														

令和6年1月～令和6年12月分調査 労働災害分類番号一覧表

被災者区分	1. 労働者（日本人）	2. 労働者（外国人）	3. 中小事業主	4. 一人親方	性別	1. 男	2. 女
-------	-------------	-------------	----------	---------	----	------	------

作業分類	1. 解体	2. 基礎	3. 足場	4. 建方	5. 屋根	6. 外部造作	7. 内部造作
	8. 外装	9. 内装	10. 設備	11. 外構	12. 加工場	13. その他(作業を記入)	

職種分類	1. 解体	2. トビ足場	3. 基礎		4. 大工	5. 防蟻	6. 板金	7. スレート
	8. 瓦	9. 防水	10. コーキング		11. 左官	12. サイディング		13. タイル
	14. 塗装	15. クロス	16. 建具		17. タタミ	18. 電気	19. 給排水	20. ガス
	21. 空調	22. 造園	23. 現場監督		24. 納材	25. 産廃	26. その他(職種を記入)	

災害分類 (型・起因)	墜転落	11. 屋根	12. 梁		13. 足場	14. 開口部	15. ハシゴ	16. 脚立
		17. 脚立足場	18. 車荷台		19. その他(記入してください)			
	切れ・こすれ	21. 丸ノコ	22. 釘打機		23. 金槌	24. ノミ	25. 木材加工機	26. パール
		27. カッター	28. グラインダー		29. その他(記入してください)			
	車両系建設機械	30. クレーン	31. ドラグショベル(ユンボ)			32. ハンドガイドローラー		33. ランマー
		34. ユニック車	35. トラック		36. その他(機械名を記入してください)			
	40. 激突							
	50. 激突され							
	60. 飛来落下							
	70. 転倒							
80. 熱中症								
90. その他(型・起因を記入してください。表現は用語等を気にせずに記入してください。)								

工法区分	イ. 木造在来軸組	ロ. ツーバイフォー	ハ. 木質プレハブ	ニ. 鉄骨在来
	ホ. 鉄骨プレハブ	ヘ. コンクリート在来	ト. コンクリートプレハブ	チ. その他(混構造等)

* 型式適合認定工法以外は、イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ニ. 鉄骨在来 ヘ. コンクリート在来 チ. その他(混構造等)の中から選択してください。

工事種別	1. 新築	2. 増改築・リフォーム	3. 解体
------	-------	--------------	-------